

## 高松丸亀町 G 街区地区

- 所在地： 香川県高松市
- 地区面積： 約 1.2 ha
- 応募者： 丸亀町グリーン株式会社

### ■地区の概要

当地区は、瀬戸の都高松（香川県高松市）の中心商店街の中心部に位置する。アーケード街である丸亀町商店街に面した区域を中心に東西の飲食街を取り込んだ形の再開発事業で誕生した地区である。郊外への大型店の出店ラッシュによる中心市街地の空洞化が危惧される状況のなか、高松市中心市街地活性化の中核事業としての期待を背負って、平成 24 年春に竣工、オープンした。

敷地中心部に賑わいの核となる広場（約 300 坪）、屋上部分には開放された庭園を整備し、商店街に不足していた来街者が憩えるゆとりある空間、イベント等を行うコミュニティ拠点空間、安心して子供を遊ばせる空間を創出した。また、商店街に面した部分の壁面後退、建築物の高さ規制等を設け、土地の合理的かつ健全な高度利用、中心商店街としてふさわしい調和のとれた街並みの形成、自転車利用が多い高松の特徴を加味したゆとりある歩行空間を創出する等、官民一体のまちなみ整備が行われている。その他、施設閉館時にも商店街を通りたくなる工夫として、ショーウィンドウを義務化し、シャッターのない街づくりを実現する等、様々な取組みを实践しており、その結果、開業後商店街の通行量が倍に増加する等の賑わいが生みだされている。

### ■審査講評

高松の丸亀町は、いまや商店街再生の成功事例として全国に名が通っている。その名を聞いて人々が思い浮かべるのが、あのガラスのドームであろう。地方都市の商店街再生に成果を挙げている事例はもちろん全国にあるが、そのイメージは、店先の商品とともにほじける人々の笑顔、あるいはモニュメントであって、パースペクティブな眺めとして印象づけられ、差別化される事例は、そう多くないと思う。今回の受賞対象の G 街区は、かのドームのある通りの延長線上にある。このいかにも記号的呼び名は、丸亀町グリーンというビル名称に変化（へんげ）したが、丸いドームと対象的な、直線的でくっきりとしたファサードと屋根に光が充ちた半屋外のデザインとして、やはり視覚的に記憶されるに違いない。街路幅員（D）と建物高さ（H）の比、D/H とは、都市デザインの専門家にはなじみの指標だが、それを事業できっちり位置づける例は、まず聞かない。適度な囲われ感が出現している。いうまでもなくこの空間を実現することが目的ではなく、商いと暮らしの再生のための事業であり、そのための苦労は計り知れない。しかしそれをきちんと目に見える姿形で印象づけること。本賞に誠にふさわしい成果である。（佐々木）



当地区は高松丸亀町商店街の国道 11 号線の玄関である。屋上庭園が整備され、環境に配慮した憩い空間を創出している。



国道 11 号線から丸亀町グリーンを眺める。商店街のアーケード、街路整備、沿道建築物のファサード改修整備がされ、中心市街地としてふさわしい街並みを形成している。



丸亀町グリーンの商店街の様子。シャッターのない店造り、官民による一体的な舗装が特徴。店舗にオーニング（庇）の設置を義務づけ、心地よい環境を演出している。



丸亀町グリーンの広場（約 300 坪）。シンボルツリーの植樹、広場、官民（高松市、丸亀町グリーン）による一体的な舗装が特徴。一体的な空間を創出している。